

全国初 がん治療に伴う副作用・合併症等に応じる 多職種の特門外来「支持医療科」を新設

2026年3月26日
静岡県立静岡がんセンター

静岡がんセンターは、患者・家族へのさまざまな支援を行うため、“包括的患者家族支援体制”を整備し、「**治し支えるがん医療**」に取り組んでいます。特に、がんの進行やがん治療に伴う副作用や合併症の対応（支持療法）は、あらかじめ知っておくこと、予防すること、そして早めの対処が重要になります。

しかし、副作用や合併症の病態は、有効な治療法が確立していない、もしくは治療法が存在しないケースが多くあり、薬物療法、栄養療法、運動療法、心理療法などの複数のアプローチが必要とされています。このようなアンメットニーズの高い支持医療に特化するため、多分野の特門医師と多職種の特門スタッフによる外来診療とセルフケア指導を行う、全国初の「支持医療科」を新設することになりました。

当院に通院する患者さんは、診断から治療後のケアに至るまでの間、支持療法をいつでも受けることができます。今回、「支持医療科」を新設することにより、他院でがん治療を受け、副作用や合併症に悩まれている患者さんや困難症例に対しても広く受け入れて参ります。これにより、地域の枠を超え、より多くのがん患者さんの生活の質（QOL）の向上を強力に支援します。

【設立の背景：がん医療の新たな課題】

現在、日本人の2人に1人ががんを経験する時代です。医学の進歩により、がん医療はより精密になり、分子標的治療や免疫療法などの革新的な薬物療法が登場しました。これにより、治療が困難な進行がんでも、長くがんと共に共存することが可能になっています。しかし、これは同時に「**新たな課題**」を生み出しました。生存期間が延びる一方で、患者さんとご家族は長期間にわたり、食欲不振や体重減少（カヘキシア）、しびれ、皮膚炎、口腔粘膜炎といった身体的苦痛と向き合い続けることとなります。「病を抑え込むこと」だけに注力すれば、患者さんの体力は消耗し、生活の質は著しく損なわれます。

がんと共に生きることは、長く過酷な航海に似ています。治療の進歩は同時に、その治療を完遂するための「**支え**」が不可欠です。患者さんが直面する治療の副作用や見通しを読み解き、最適な道筋を示して最善の医療を提供する、それが当センターの「支持医療科」の使命です。

【支持医療科について：5つの特門外来が提供する「攻めのケア」】

支持医療科は、「科学に基づく高度な特門外来」を目指し、各分野の特門家が結集し、最先端の治療とケアを提供します。

セルフケア支援外来

がん薬物療法の看護に関する高度な特門知識を有するがん特門看護師や認定看護師が常駐し、電話相談から対面指導まで患者さんとその家族が副作用の波を予測し自らの力で乗り越えられるよう、「セルフケア」の技術を指導します。がん治療の主導権を患者さんの手に取り戻すための新たな基盤となる外来です。

プレスリリース

リンパ浮腫外来

手足のむくみ（リンパ浮腫）はがん治療の後遺症として発症します。静岡県内だけでも約 2,500 人の患者さんがいると推定されながら、適切な治療拠点が見つからない「リンパ浮腫難民」が課題となっています。当外来では、画像検査（リンパシンチグラフィ、ICG リンパ管造影）による診断と、体組成分析を用いた客観的な重症度評価に基づき、保存的治療（圧迫療法）から、形成外科医による高度な顕微鏡下手術（リンパ管静脈吻合術：LVA）まで、シームレスな治療を提供します。

カヘキシア（悪液質）外来

「がん悪液質（カヘキシア）」は食欲不振や急激な体重減少を引き起こします。握力や体組成の精密評価を行い、原因を特定、複数の薬物療法（アナモレリン、漢方等）の処方や栄養指導に加え、理学療法士や看護師と連携した運動療法など、集学的なアプローチを提案します。「がんだから痩せる」の常識を覆し、患者の栄養状態と身体機能を維持する方法を提供します。

口腔ケア外来

がん薬物療法に伴う重篤な口腔粘膜炎などの口腔有害事象は、治療継続に影響を及ぼします。これまで口腔に特化した相談窓口は十分ではありませんでした。本外来では重症化してからの「治療」ではなく、ごく軽微な段階からの「予防的介入」を徹底します。食べる喜びを守り、がん治療の完遂・継続を支えます。

皮膚・爪障害外来

革新的な新規のがん薬物療法（分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤等）は高い効果を示す一方、特有の皮膚障害をもたらすことがあります。がん薬物療法による皮膚・爪障害の豊富な経験を持つ皮膚科医師ならびに、専門看護師が治療初期から先手で予防的スキンケアを指導。患者さんの苦痛を未然に防ぎ、早期治療も行いながら、最新のがん薬物療法を安全に受けていただく医療を提供します。

【支持医療科の体制】

- 1) 院内標榜診療科名：支持医療科（部長 内藤立暁医師）
- 2) 診療開始日：2026年4月1日
- 3) 場所：病院本棟3階 支持療法センターエリア内「支持医療科」
- 4) 外来診療予定表

	月	火	水	木	金
午前	セルフケア支援外来※	セルフケア支援外来※	皮膚・爪障害外来	セルフケア支援外来※	セルフケア支援外来※
午後	リンパ浮腫外来	漢方外来	カヘキシア外来	リンパ浮腫外来	口腔ケア外来

※印は、看護師、栄養士、薬剤師など多職種チームが、がんの合併症やがん治療の副作用の予防・治療に関するセルフケアを支援する外来です

- 5) スタッフ：呼吸器内科医師、歯科口腔外科医師、皮膚科医師、形成外科医師、
がん薬物療法看護認定看護師、がん看護専門看護師など
- 6) 予約方法：地域医療連携室、予約センター 電話：055(989)5680
(受付時間：午前8時30分～午後5時(土・日・祝日および年末年始を除く))

※本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

静岡県立静岡がんセンター マネジメントセンター医療広報担当

電話：055(989)5222(代表) info@scchr.jp